



伊勢崎市立名和小学校 学校通信 第32号 令和5年 2月21日

名和小だより

学校教育目標 よく考え工夫する子 思いやりのある子 がんばりのきく子
(未来のための三つの心 自立心 向上心 思いやりの心)

～子どもたちに豊かな学びを届けるために～

先日、市教育委員会からの通知と共に「提言R5」を配布させていただきました。県の「教職員の多忙化解消に向けた協議会」からの通知には『教員でしかできない業務への専念、子どもとしっかり向き合う時間の確保、教育の質を高め豊かな学びを届ける』を目指すために、学校・保護者・地域の方と情報を共有しながら取り組んでいくことが示されました。現に心身の健康を損なったりして休職している教職員が毎年発生しています。それに伴い、代替りの教職員も見つからず校内職員で対応している学校が市内でも多くあります。

つきましては、本校におきましても子どもたちと向き合う時間の確保のために以前より業務については見直しを進めており、すでに多くの面でご理解をいただいております。(勤務時間外の電話対応、欠席連絡・アンケートのデジタル化等)現在は学校行事における招待者の精選、PTA活動の事業・会議の精選等を進めています。そして、できた時間を児童が活動する授業や諸活動の充実のための準備時間として進めて参ります。

今後も変更等がある際は、今まで同様に通知や学校だより等でお知らせをしていきますので、ご理解とご協力をお願い致します。

3年生 スマイルキッズキャラバン はたおり体験教室

2月2日(木)の1校時から3年生の子ども達はサッカーボールを元気に追いかけてきました。ザスパ草津のコーチ2名が来校しボールと触れ合う楽しさを教えてくれました。楽しさを知ることで、またサッカーをやろう、運動をしようと思います。そんな気持ちにさせてくれる1時間でした。

2月7日(火)3年生は、はたおり体験を緋の郷で行ってきました。明治初期から昭和初期にかけて実際に使用されていたはたおり機を使わせていただき、一人ずつコースターを織りました。グループ毎に分



かれ、職員の方から織り方を教えてもらい、両手・両足を上手く使いながら自分の好きな色のコースターを織ることができました。今回の体験を通して銘仙・伊勢崎の歴史と織技術を味わうとともに、伝統の技術のすばらしさも感じていたようです。





ドキドキした2年生

14日(火)音楽集会が行われました。今回は2年生が担当となり、全校の前で発表をしました。それも体育館のひな壇に並んでの発表です。自



分たちからも、見ている他学年からお互いに顔がよく見えます。朝の登校の時から「今日は、全校の前で発表だから緊張します。家でも練習をしてきました。」と今日のために頑張ってきたことが伺えます。そんな2年生の発表ですから聞いている人達もリズムをとりながら楽しく聞いていました。

二中地区 子ども未来会議

14日(火)に二中地区子ども未来会議が開催されました。6年生から6人のメンバーと広瀬小、二中のそれぞれの代表が参加して行われました。テーマは「豊かな学校生活を送るために自分たちのできること」について、発表をし合い、その後、タブレットの活用について、課題や解決策につ



いて、活発に意見交換をしました。話し合いの中で、相手の意見を聞き、自分の考えを持ちその場で意見を交わす。大人でも難しいことですが参加した6人は、それぞれが自分の考えをしっかりと伝えていました。6年生の成長した姿が見られました。



命をはぐくむ出前講座

5年生は授業参観で助産師さんによる「命をはぐくむ出前講座」を行いました。これは命の誕生について知ると同時に命の誕生に関わる両親の思いについて考える内容になっています。ですから親御さんと一緒に話を聞くことで



自分がどのように思われて誕生してきたのか真剣に考えることができます。最後には『生きているだけで100点満点』の話があり、みんなのことを思っている人が多くいること、そして、みんなが生きていることで幸せになっている人が沢山いること、だからこそ命は大切にしようという話がありました。ご家庭でも、お子さんの誕生についての会話を通して、お子さんが自分自身の誕生について改めて考える機会にして下さい。

